

創立100周年記念事業の一環で、安達中学校第一回・第二回の卒業祈念に植樹された正面のソメイヨシノが、百年の風霜を経て枯れてしまいました。同級生や市民からはこれを惜しむ声が寄せられ、100周年に合わせて、新しいエドヒガンザクラを植樹しました。

植樹した桜は、三春滝桜の孫木で、高橋信次像がある校門東側に植えられ、桜の前には日本文化書道班の安斎瑠菜さんが「百年桜」と揮毫した銘板が建てられました。

植樹セレモニーは吹奏楽のスプリングコンサートに合わせて行われ五輪会長から「同窓生の思いが込められた桜のお披露目式に感謝する」と挨拶があり、伊藤勇輝生徒会長が「百年桜のように新入生もしっかりと根を張り、安達高校の良き伝統をこれからもみんでつないでいこう」とあいさつし、「学園天国」「校歌」などを演奏し式典を盛り上げました。

